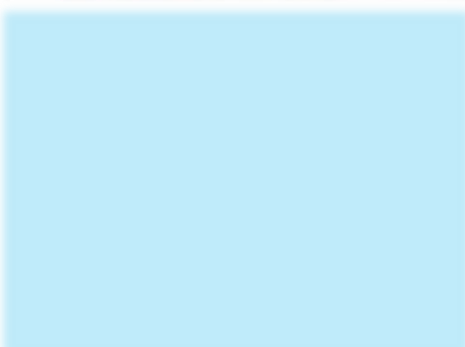
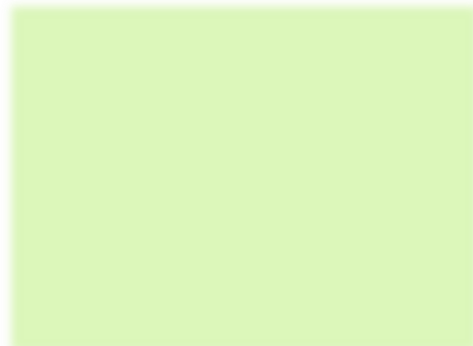
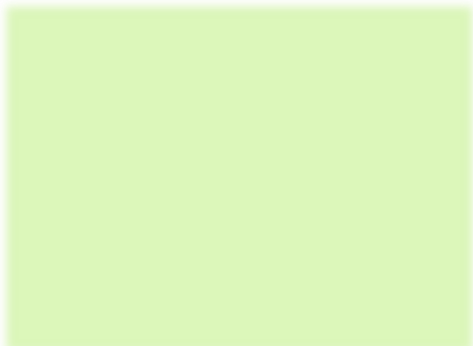
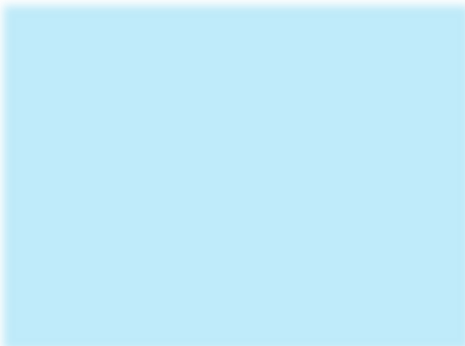


未来を拓き  
地域を担う  
人づくり

# 牛久市教育大綱 (改定版)

市民だれもが学び合う「学びの共同体」づくり



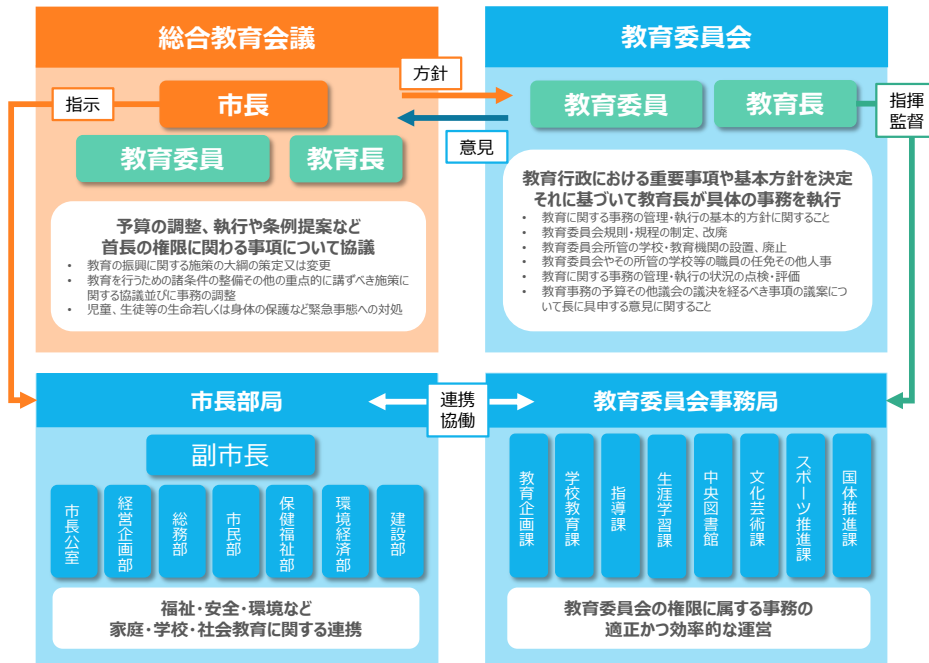


# 教育大綱策定の背景

地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化、地方に対する国の関与の見直しなど、制度の抜本的な改革を図る「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が、2015年4月1日に施行されました。

この改正により、すべての地方公共団体に「総合教育会議」が設置されることになりました。総合教育会議は、地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るものです。また、首長は、この総合教育会議において、教育の振興についての基本的な方針として「大綱」を定めることとなりました。

これに伴い、市長と教育委員会（教育委員）を構成員とする「牛久市総合教育会議」が設置され、予算の調整、執行や条例提案など、市長の権限に関わる事項について協議を行っています。

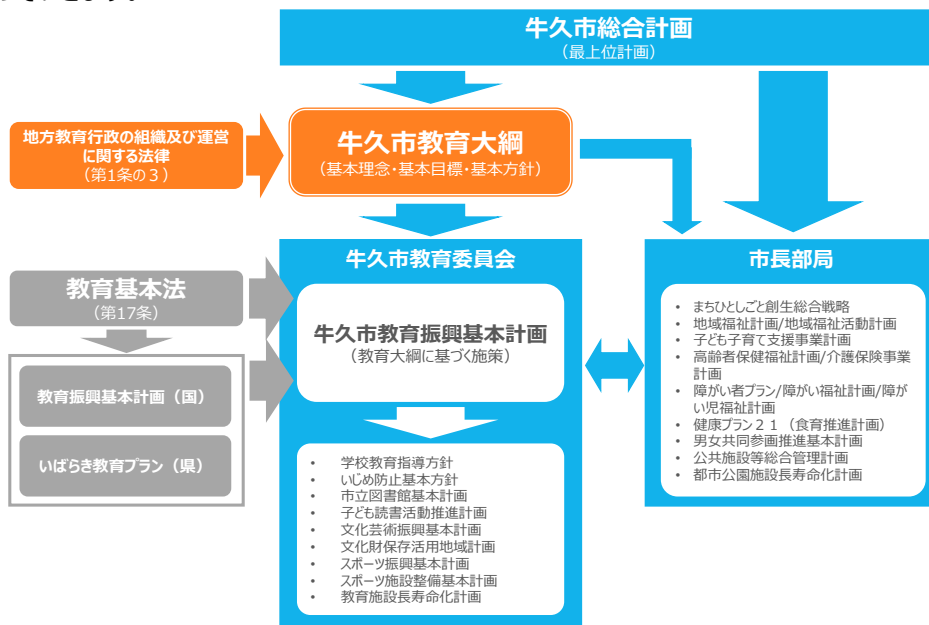


# 教育大綱の位置づけ

牛久市教育大綱は、本市の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

今後、教育委員会が策定する基本計画や個別計画、また、市長部局の各種計画において教育に関連する分野については、本大綱に従って検討、策定していくこととなります。

当初、本大綱の期間は、2019年から2023年までの5年間としましたが、牛久市第4次総合計画第1期基本計画の策定に伴い、期間を1年延長した2024年までとします。なお、国や県の方針や本市を取り巻く環境の変化などを勘案しながら、見直しを行っていきます。



## 現状と課題

### 時代の変化に対応できる人材の育成

- ◆グローバル化の進展に伴い、人材が国際的に流動化しています。本市では、多くの若者が進学や就職、結婚などをきっかけとして東京圏に転出していますが、その先で、国際社会が活動の場となる若者も増えていくと考えられます。また、IoT、AI、ビッグデータ等の技術革新等によって仕事や働き方が大きく変わり、市内にいながらも世界をターゲットにした事業を展開する市民も増えていくと考えられます。
- ◆そうした中、本市の子どもたちが、将来にわたって明るく強く生き抜いていくためには、新しい時代に必要な資質・能力を身につけ、自ら未来を切り開いていくことが必要です。

### 郷土愛の醸成、豊かな心の育成

- ◆本市で学び育った子どもたちには、本市を郷土として誇りや愛着を持ち、市外へ出ていっても、いつかは本市へ帰ってきて、外で学んできたことや作り上げてきた人脈などを、地域のために生かして欲しいといった願いがあります。
- ◆そのような人に育っていくためには、家庭や地域、学校とのつながりの中で、多くの人々と関わり合いながら多様な体験を重ねていく中で、豊かな心を育んでいくことが必要です。

### 女性や高齢者の社会参加促進

- ◆少子高齢化に伴い生産年齢人口が減少する中、経済活動や地域活動において、ますます女性や高齢者の活躍が重要になっています。女性においては多様化する働き方に対応するための学びなどが、高齢者においては多様な技術や経験を地域で活用していくための学びなどが必要です。
- ◆また、社会の変化のスピードが速まる中で、人生100年時代の到来が予想されており、長い人生を生きるためには、生涯を通して時代に合った知識やスキルなどを学び続けていくことが必要です。

### 地域課題を解決する人材の育成

- ◆世界では、環境・貧困・人権・平和・開発など地球規模の課題が顕在化しています。本市では、地域によって人口や年齢構成が異なることなどから、教育・福祉・コミュニティなどにおいて、地域ごとに異なる課題を有しています。
- ◆持続可能な社会を形成していくためには、世界の課題や地域の課題を自分の問題として捉え、身近なところから取り組むこと、また、他者とのつながりや社会とのかかわりを意識し、多様な人材や資源を活用しながら課題に取り組んでいくことが必要です。

### 地域の中で学び合うことのできる環境づくり

- ◆本市では、以前は東京のベッドタウンとして、近年は近隣市町村のベッドタウンとして発展してきたことにより、様々な地域から転入してきた多様な知識や経験、文化を持った市民が暮らしています。そのため、本市の市民は、それぞれが持つ知識や経験、文化を持ち寄ることで、より質の高い学びや新しい文化を生み出す力を持っています。
- ◆本市の市民が、現在および未来において、世界や地域で活躍していくためには、子どもから高齢者まで、誰もが地域の中で学び合い、高め合うことができる、「学びの共同体」づくりが必要で

## 基本理念

# 未来を拓き 地域を担う 人づくり ～市民だれもが学び合う「学びの共同体」づくり～

本市の教育は、変化の激しい社会において未来を切り開いていくことのできる人材、地域を想い、地域の現在および将来を担う人材づくりを目指します。また、その実現のために、市民だれもが学び合うことのできる「学びの共同体」づくりを進めます。

## 基本目標



基本理念の実現に向けて、4つの基本目標を設定します。  
「学校教育」「就学前教育・家庭教育」「社会教育」の3つの分野で市民の生涯にわたる学びを推進するとともに、教育施設の整備により、市民の学びを支えていきます。

## 目指す人材像

本市の教育により目指す人材は、新しい時代に必要な知識を身に付け市内外さらには国内外を問わずに活躍する人材、また、豊かな心、他者とのつながりを持って、世界や地域のために活躍する人材です。

☆ 地球規模の課題を解決するなど、国際的に活躍できる ☆

☆ 市内外の資源を活用し、郷土の課題解決に貢献できる ☆

☆ 先端技術や情報を駆使して、新しい時代を開拓できる ☆

☆ 多様な人材と協働しながら、地域活性化に貢献できる ☆

## 1. 一人残らず質の高い学びを保障する学校づくり

本市の学校教育現場では、長年にわたって「協働的な学び」に力を注いできました。これにより、子どもたちの学びに向かう力や子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を育み学力の向上を図るとともに、安心して居場所感のある教室で、自己有用感や自己肯定感など豊かな心を育てています。今後はこれらを小中学校において連続性や系統性を持たせることで、子どもたちがより「主体的・対話的で深い学び」に向かえるよう取り組んでいきます。

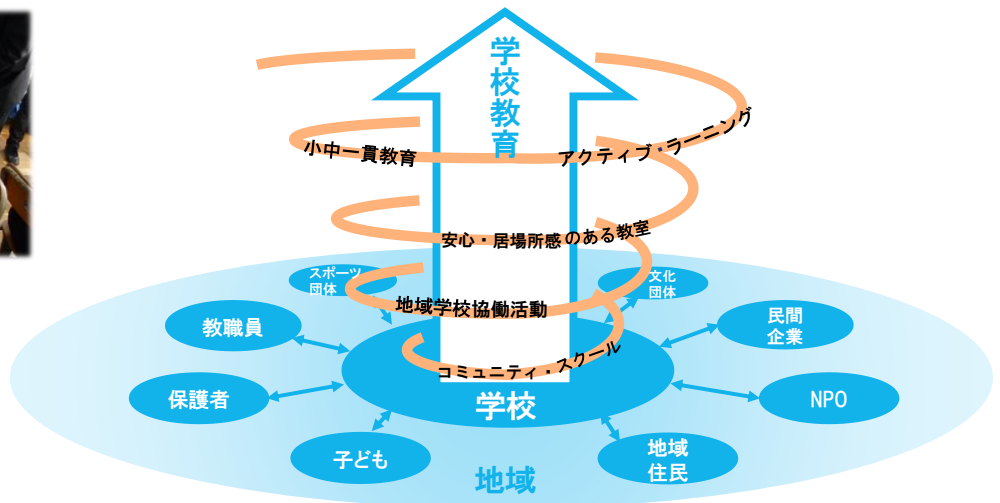
また、本市は、県内では早い段階から「コミュニティ・スクール」の形成に取り組んできました。地域の少子化による小規模化の進んだ奥野地区の奥野小学校と牛久第二中学校をモデルケースとして、「地域とともにある学校づくり」に取り組み、地域との連携・協働の仕組みが定着しつつあります。

本市がそうした取り組みを先行して進めている中、国は、社会教育法を改正し、「地域学校協働活動」による「学校を核とした地域づくり」を推進することとしました。地域学校協働活動は、奥野地区のモデルケースを推進する中で、導入・実践のノウハウは蓄積されてきており、今後はさらに実践を重ねながら、市内全域に展開していきます。

今後は、「コミュニティ・スクール」による「横の連携」を基盤に、小中一貫教育の「縦の連携」の一層の充実を図り、「一人残らず質の高い学びを保障する学校づくり」を推進します。



質の高い学び合いの実施



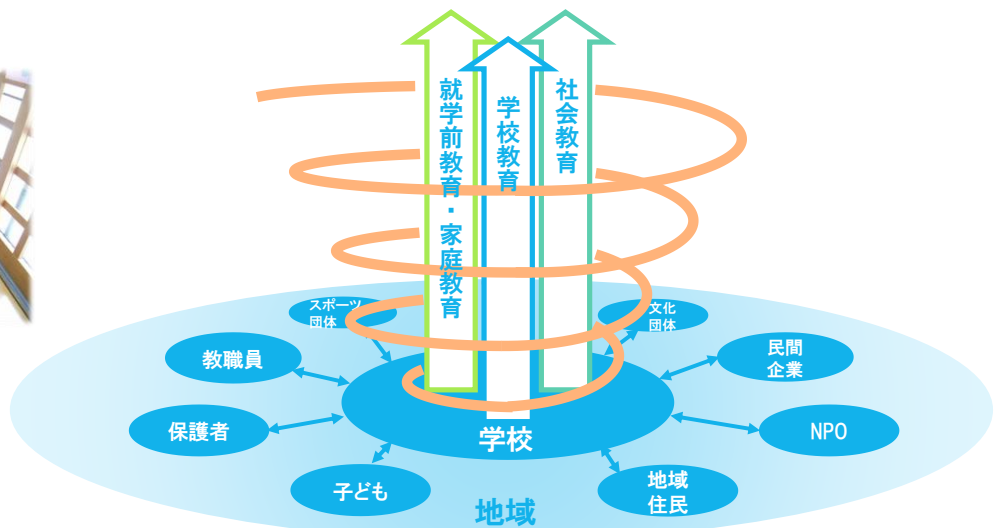
## 2. 学校を核とした「学びの共同体」による地域の学び力向上

「一人残らず質の高い学びを保障する学校づくり」における地域が連携・協働した取り組みを、就学前教育・家庭教育、社会教育（生涯学習・文化芸術・スポーツ）の分野にも広げ、関連付けながら一体的に推進していきます。

これにより、各教育分野の質の向上と乳幼児期から生涯にわたって学び続けることのできる環境をつくり、小学校区単位での地域の学び力の向上を目指していきます。



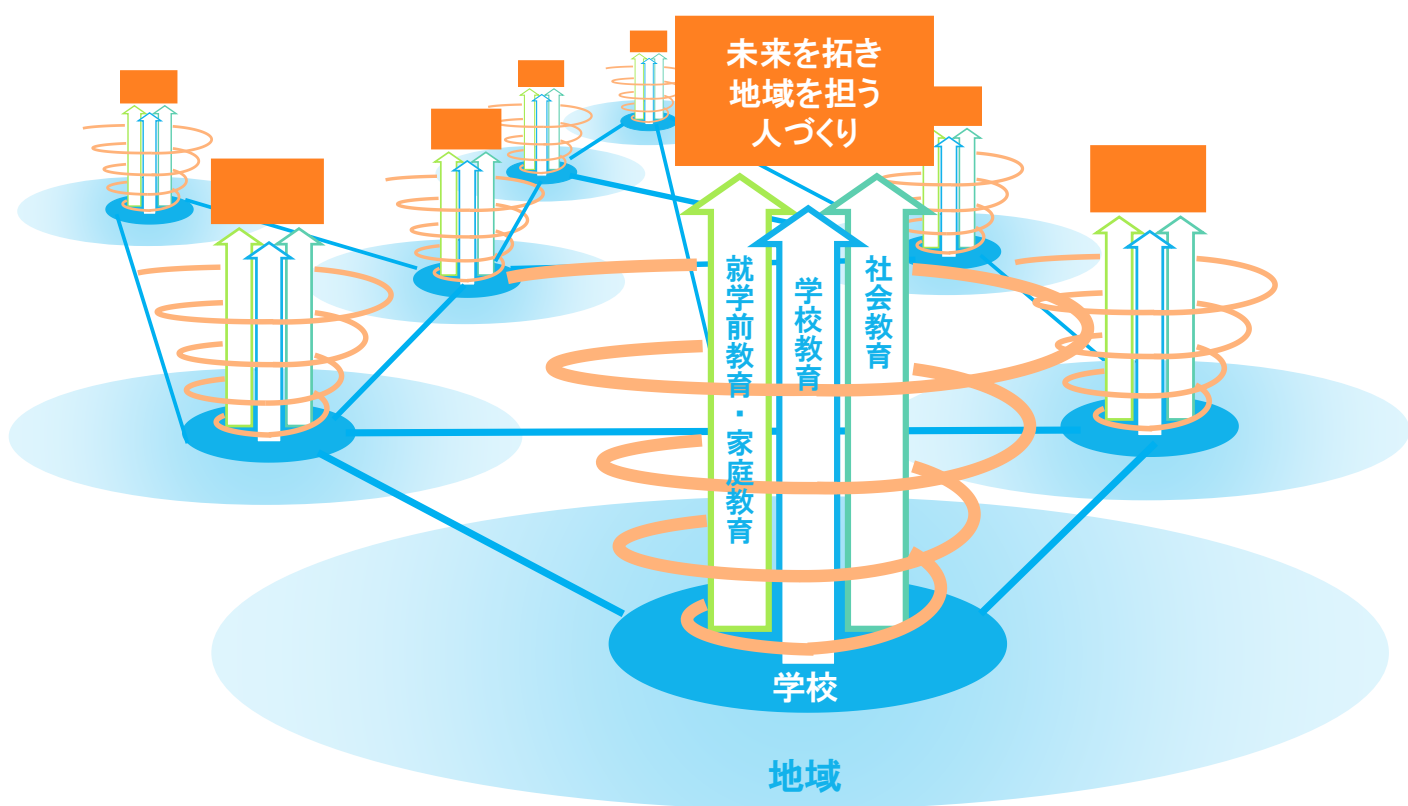
保幼小連携事業



### 3. 未来を拓き 地域を担う 人づくり

小学校区ごとに展開する「学校を核とした『学びの共同体』による地域の学び力向上」に向けた学校教育、就学前教育・家庭教育、社会教育の一体的な取り組みを、市内で連携して推進していきます。

これにより、小学校区単位では不足する資源を補い合って、教育の質の向上や、提供可能な学習プログラムの増加などを図り、個々の学びに対するニーズに適切に対応していくことで、本市の教育の基本理念である「未来を拓き、地域を担う、人づくり」を実現していきます。



むかしあそびを教わろう



かっぱ祭り

## 【学習指導内容の充実】

## 知性に富み、心身ともに健康で、人間性豊かな児童生徒の育成

## 確かな学力の育成

子どもたちが基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力などを身につけ、主体的に学びに向かい、学びを活用する力を育成します。

## 豊かな心の育成

子どもたちの豊かな情操や道徳心を培い、自他の生命の尊重、自己肯定感・自己有用感、他者への思いやり、人間関係を築く力、社会性などを育成します。

## 健やかな体の育成

生涯にわたって、明るくたくましく生きるための土台となる、健康な身体と体力を育成します。

## 変化に対応する力の育成

グローバル化、技術革新の一層の進展、世界的な課題の顕在化など、加速する社会の変化に対応するために必要な力を育成します。

## 地域で自立する力の育成

障がいのある子どもや母国語の異なる子ども等に対し、個々のニーズに応じた教育的支援を継続的に行うことで、地域のなかで自立して豊かな人生を送るための力を育成します。



アクティブ・ラーニング（小学校）



アクティブ・ラーニング（中学校）



学校給食「牛久の日」



ALT：英語指導助手（小学校）



ALT：英語指導助手（中学校）



学校図書室と学校司書



## 【アクティブ・ラーニング等の協働的な学びの推進】

### 安心・居場所感のある教室、 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり

#### 教職員の指導力向上

教職員の同僚性の向上や開かれた教室づくり、計画的な研修などを通して教職員の資質の向上を図り、授業づくりを核とした学校づくりを推進します。

## 【教育環境の充実】

### 多様なつながりの中で豊かな学びが生まれる学校づくり

#### 教育センター機能の充実

教育センターきぼうの広場が核となり、保健・医療・福祉・教育に関係する組織や団体と連携しながら、個々の児童生徒に応じた組織的・計画的な支援の充実を図ります。

#### 保幼小中連携の推進

中学校区が一体となって保幼小連携・小中一貫教育を推進し、幼児期からはじまる系統的・連続的な指導を充実することにより、地域の子ども一人一人の育ちと学びを見取ります。

#### 地域人材による教育の推進

教育支援や学校運営、部活動指導などにおける地域人材の活躍を促進することにより、子どもたちの学びの質を高めるとともに、地域とのつながりを深めます。

#### 学校・通学路の安全・安心の確保

行政と地域住民等との連携・協働により、学校内および通学路における安全を確保し、児童生徒が安心して学べる環境を整えます。

#### 教職員の働き方改革の推進

教職員が授業に集中でき、子どもと向き合う時間を増やせるよう、業務の適正化や効率化などによる働き方改革を推進します。

#### 「学びの共同体」づくりの推進

おくのキャンパスでの取り組みを実践・検証しながら、学校を核とした「学びの共同体」による地域の学び力向上に資する学校づくりを進めます。



教育センター「きぼうの広場」



きぼうの広場の教職員



学校運営協議会

## 【就学前教育の充実】

## 幼児期の特性に応じた資質・能力の育成

## 保幼小連携の推進

保幼小教職員の情報交換や研修等を通して、幼児期と小学校教育の連携を図ります。

保幼小の幼児・児童の交流活動を通して、幼児期の遊びを通じた学びから小学校での生活や学習への円滑接続を推進します。

## 幼児教育センター機能の整備

「幼児教育センター」としての機能を整備し、公立・市立、施設の種類を超えて質の高い幼児教育を提供するため、教職員の資質向上や保護者の支援に取り組みます。

## 【親と子の学びの支援】

## 親も子も安心して学べる環境づくり

## 子どもと地域とのつながりづくり

教育機関と家庭相談員、民生委員児童委員、主任児童委員との連携などにより、家庭教育において学校や地域とのつながりが持てるよう支援します。

## 親の学びの場の提供

子どもの成長段階にあった親の学びの場を提供することにより、家庭の教育力向上を図るとともに子どもの健やかな成長を支援します。

## 放課後・土曜日の学習・預かりの支援

「放課後児童クラブ」の着実な運営により、共働き家庭などの児童を含めたすべての児童の安全・安心な遊び場や生活の場を確保します。

「うしく放課後カッパ塾」において学びの場を提供し、児童の基礎学力の向上や学習習慣の定着を促進します。

「うしく土曜カッパ塾」において、学習や体験活動などの多様なプログラムを提供し、子どもの学力向上を図るとともに地域とのつながりを深めていきます。

## 就学の支援

児童・生徒への奨学金の給付や就学援助などの支援により、全ての子どもたちの教育を支えます。



子育て広場



放課後カッパ塾（小学校）



家庭教育学級

## 【生涯学習の推進】

## 生涯にわたって学び活躍していく人づくり

## 学習機会の提供・活動支援

市民の世代や関心に合わせた学習プログラムの提供や、自発的・自主的な講座の開催支援、利用者本位の施設運営などにより、だれもが学びに向かうことのできる環境を整えます。

## 図書館機能の充実

市民との協働により、時代の変化に対応しつつ、市民の学びと暮らしの向上に寄与する「頼れる図書館」づくりを推進します。

## 地域と学校の連携強化

学校と保護者、地域人材等が連携・協働する仕組みを整備・推進することにより、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域」をつくり、子どもも大人も学び合い・育ち合う環境をつくれます。

## 地域人材の育成

地域づくり活動を牽引する人材やグローバルに活躍する人材など、人材育成のための学びの提供や、学び直しの支援などを推進します。

## 青少年の健全育成

地域の人材や団体、機関と連携・協働し、人のつながりによって子どもを守り育てる取り組みを推進します。



ティーンズおはなし会



男性料理教室



夏休み宿題応援講座



土曜カッパ塾（調理）



土曜カッパ塾（英語）



青少年相談員連絡会

## 【文化芸術の振興】

### 文化芸術を軸とした魅力ある地域づくり

#### 文化芸術活動への参加促進・人材育成

より多くの市民が文化芸術に親しむ機会を提供することにより、文化芸術のまちづくりに取り組む市民を育成します。

#### 文化遺産の保存と日本文化の伝承

本市の歴史・文化の理解促進、保存と活用をすすめることで、郷土に対する愛着を醸成し、地域づくりにつなげていきます。

#### コーディネート機能と広報の強化

文化芸術団体の活動や交流支援などにより、文化芸術のコミュニティづくりと各団体の活性化を促進します。



小中学校芸術鑑賞会



うしく音楽家協会主催コンサート



小川芋銭記念館「雲魚亭」

## 【生涯スポーツの推進】

### 生涯スポーツによる市民の健康づくり

#### スポーツ活動の啓発

スポーツ観戦の機会の提供などにより、スポーツへの関心を高め、市民の生涯スポーツへの意識向上を図ります。

#### スポーツ活動機会の提供・活動支援

多様な世代やニーズに合わせた健康づくりのための運動を含めたスポーツプログラムを提供し、より多くの市民が日常的にスポーツに取り組む環境をつくれます。

#### スポーツ人材・組織の育成

主体的にスポーツに取り組む市民や団体を支援することで、競技者の育成と増加を図ります。



岡田地区体育祭



牛久シティマラソン



ヘルシーボール大会

## 学校施設の整備

学校施設において、教育や校務におけるICT化の推進、バリアフリー対応、児童生徒数の増減への対応など、時代に合わせた整備を推進します。

## 生涯学習施設の整備

生涯学習施設において、市民のだれもが快適にそれぞれの望む学びに向かえるよう、市民ニーズを踏まえた整備を推進します。

## 文化芸術施設の整備

文化芸術施設において、市内だけでなく市外の人々も本市の文化芸術に親しむことができるよう、文化財の活用や交流促進を踏まえた整備を推進します。

## スポーツ施設の整備

スポーツ施設において、幼児や高齢者、障がいのある人の軽度な運動からアマチュア・プロスポーツ選手のトレーニングや試合観戦など、多様なニーズへの対応を踏まえた整備を推進します。



ひたち野うしく中学校（2020年4月開校予定）  
第一幼稚園（2019年4月開園）イメージ



ICTを活用した授業



旧岡田小学校女化分校校舎  
（国登録有形文化財）



牛久運動公園武道館  
（2019年4月開館）

未来を拓き  
地域を担う  
人づくり

牛久市教育大綱  
2024年1月